

## スギ花粉症の減感作（舌下免疫）療法

寒さが峠を越すとやってくるもの、そう春の訪れと共に花粉が飛びます。今回は花粉症の新しい治療、減感作(舌下免疫)療法についてのお話し。

スギ花粉症はスギ花粉が原因（アレルゲン）となっておこる病気です。スギ花粉を吸い込むことによりくしゃみ、鼻水、目の痒みなどのアレルギー症状をひきおこします。これまでは出た症状に対して、症状を抑える薬を投与する治療が主でした。これに対して減感作療法とはアレルギーの原因となっている物質（この場合スギ花粉）を少量から投与することで体をアレルゲンに慣らし、治療を継続することで、本物の花粉を吸い込んでも症状が出ない、もしくは和らげることが可能になる治療です。これまでは医療機関で皮下に注射する「皮下免疫療法」だけでしたが、最近では舌の下に薬をいれるだけで治療できる「舌下免疫療法」が登場し自宅で行えるようになりました。

5年程度の舌下免疫療法で約2割の方はスギ花粉飛散期でもほぼ症状が出現しなくなり、お薬を使わずに日常生活がおくれるようになります。6割程度の方で内服は使用しますが症状は随分と緩和されます。残念ながら2割程度の方は治

療に反応性が乏しく、1年程度で治療を中断することもあります。

治療開始には間違いなくスギ花粉症があるのか検査で確認し、間違いなければスギ花粉飛散期（12~4月）を避けて導入を開始します。舌下免疫療法にはスギの他、子供で有症率の高いダニが原因のアレルギー性鼻炎に対する治療も可能です。

アレルギー減感作療法は根本的な体質改善が期待できる治療です。副反応もありますが比較的安全に、そして簡便に導入できる治療法です。ご検討の際にはかかりつけの先生にご相談下さい。